

verde

「verde」とは、ポルトガル語で「緑の」という意味です。



ベルジ箕輪

ベルジ株式会社 有料老人ホーム ベルジ箕輪
発行責任者 専務取締役 大久保健司
支配人 高木 正幸

〒370-3104 群馬県高崎市箕郷町上芝 839-4
Tel 027-371-6610 / Fax 027-371-6613
E-mail minowa@e-verde.co.jp
URL <https://www.e-verde.co.jp>

ホームページにてブログも更新しております。そちらも是非ご覧ください

11月みのわだより

10月は穏やかな陽気が続きましたが、秋の訪れも束の間、あっという間に冬支度を意識する季節となりましたね。そんな中でも、施設内は笑顔と元気にあふれ、にぎやかな行事の季節を迎えています。今月も皆さまの笑顔あふれるご様子をお届けします。

室内運動会

コロナ禍でしばらく見送られていた運動会を、今年は賑やかに飾られた室内であたたかく開催しました。競技は、どなたでも楽しめるようにと工夫を凝らした内容で、団体競技の「玉入れ」や「トイレットペーパー綱引き」、そして職員による「借り物競争」などが行われました。勝負事となると気合が入り、競技中には「負けないわ!」「あと少しで勝てるよ!」と言った声が聞こえ、勝てればみんなで万歳! 負ければ「悔しかったね〜」「次は頑張ろう!」と声を掛け合う姿がとても印象的でした。



楽しい時間もつかの間、運動会も終わりに近づくと、最終演目のダンス。音楽が流れ始めると自然と手が動き、笑顔があふれます。今年も笑顔と拍手に包まれた、あたたかなひとときとなりました。こうして皆様の元気な姿を拝見できることが、私たち職員にとって何よりの喜びです。名残惜しさの中にも、たくさんの笑顔が咲いた一日——その思い出は、これからの季節を照らす灯のように感じられました。



10月ピックアップ献立

秋の訪れを感じさせるような旬の味覚・鮭を使ったクリームスパゲティをご用意しました。鮭には良質なたんぱく質やDHA・EPAが多く含まれるため、健康維持にも役立ちます。彩りのよいイタリアンサラダでビタミンを補い、デザートのにちごミルクプリンでやさしい甘みを添えました。食後のレモンティーが爽やかなアクセントとなり、心も体も温まる献立となりました。



10月6日(日) 昼食
鮭のクリームスパゲティ
イタリアンサラダ
いちごミルクプリン
レモンティー



今月のイベント風呂

今月は「ショウガ風呂」。生ショウガをすりおろして布に包み、しぼり汁を浴槽に入れる方法や、チューブタイプを使用する方法もありますが、今回は乾燥したスライスショウガを使用。乾燥ショウガを巾着に入れ湯に浮かべ、体の芯からぽかぽか温まるお風呂です。生姜には血行を促進し、身体の冷えや疲れを和らげる効果があります。また、身体の深部を刺激し、免疫力を高める効果も持ち合わせており、これからの季節にぴったりの癒しのひとときとなりました。



移動販売 様子

10月から始まった移動販売。

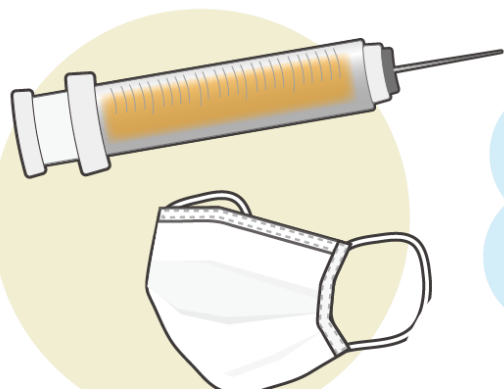
「明日は移動販売の日だね？」と心待ちにしてくださる方も多く、当日になると車内には色とりどりの商品が並びました。皆さんかごを片手に、「このお菓子好きなのよ〜」「これも欲しいわ!」と珈琲やお菓子などのお買い物を楽しまれました。



健康コラム

～インフルエンザの季節～

朝晩の冷え込みが増し、空気が乾燥するこの季節。各地でインフルエンザの流行が早くも報告されています。例年よりも流行の時期が早まっており、全国的にも注意が呼びかけられています。感染を防ぐためには、マスク着用、基本的な手洗い・うがいに加え、加湿や定期的な換気が大切です。また、栄養バランスの取れた食事や十分な睡眠も免疫力を保つポイント。



予防



手洗い



加湿

当施設でも、体調観察や室内環境の管理、ワクチン接種などの予防対策を徹底しております。日中と朝晩の寒暖差も大きい時期ですので、体を冷やさないようご注意ください。皆様がこの冬も健やかに過ごしていただけますよう、職員一同心より願っております。

編集後記

今月は、日本初の女性総理大臣・高市早苗さんの就任が話題となりました。新たな時代の幕開けを感じるニュースでしたね。

一方で、全国的にクマの出没が相次いでおり、北海道や群馬県では人身被害も報告されています。近年の気温上昇によって木の実が実らず、食べ物を求めて人里へ下りてくるケースが増えているそうです。その背景には、地球温暖化や森林環境の変化など、私たちの暮らしともつながる課題があるといわれています。しかし近年では、AIを活用した「Bアラート」などのシステム導入が進み、早期発見や被害防止に役立てられている市町村もあるそうです。

秋の深まりとともに自然との距離を感じる季節。ニュースを通して、改めて“人と自然が共に穏やかに過ごせる未来”について考える機会となりました。